

- 2 アジアの中央銀行
フィリピン中央銀行



- 4 特集

人を育む内発力

インタビュー 恵泉女学園中学・高等学校校長 安積力也
科学技術振興機構 内発力を育てる脳機能測定法の可能性
京都市 和紙デザイナー・堀木エリ子氏の情操を形にする意志の力

- 15 column / 一字千金

日本銀行と私 日本経済研究センター客員研究員 香西 泰



- 16 対談 / 守・破・創

文化や芸術は政治も国境も超える
だからこそ海外の名作にもオリジナルにもこだわる

劇団四季代表・演出家 浅利慶太
日本銀行政策委員会審議委員 須田美矢子

- 20 池上 彰のやさしい金融経済教室

日銀はどうやって収益を得ている？



- 24 にちぎんのある街から

金沢 美術、工芸王国の新たな挑戦

- 28 クローズアップ・あの日 あの時

ミスゼロを実現せよ 世界に先駆けた自動鑑査機実用化への挑戦



- 32 知るぼると招待席

「全国キャラバン金融講座」in 那覇 現場レポート
～ 金融トラブルに学ぶ・自立と新しい時代の生活設計 ～

- 34 トピックス

表紙のしるし



日本銀行旧金沢支店は、日銀本店（本館）を設計した辰野金吾博士とその弟子である長野宇平治が設計し、明治四十二年に完成した。木造構造で外装は当初モルタル塗りであったが、後にタイル貼りに改修。昭和二十九年、現在の店舗の建て替えに伴い、金沢市田上町に移設され、市役所の出張所として長年利用されたが、平成四年に解体された。金沢支店は、往來の盛んな香林坊にあり、その敷地は「金沢市史」によれば、戦国時代までは神社（旧石浦山王社）の社地であったが、戦火で神社が焼失した後は、前田藩重臣の屋敷や商店が並んでいた。明治以降は寺、旅館と移り変わり、前述の明治四十二年に日銀出張所が設置され、今日に至っている。その歴史を物語るものとして敷地内に「神木と呼ばれる優に三尋はあるタブの老木（推定樹齢約四五〇年）があり、時の流れの中で静かに見守っている。